

通告番号 16 番

令和 5 年 8 月 25 日 午 前
時 分 受 領
後

氏 名 小田桐たかし ㊟

流山市議会議長 坂巻 儀一 様

市 政 に 関 す る 一 般 質 問 通 告 書

第 3 回 定 例 会 に お け る 一 般 質 問 を 下 記 の と お り 通 告 し ま す 。

質 問 事 項	要 旨 (質意を明確、具体的に)
1 中部地域のまちづくりについて	(1) 初石駅西口駅前広場整備について、西口駅前広場の整備が議論の俎上に上ることとなった経緯をどう捉えているのか。西口広場整備について、市単独買収や区画整理などの手法も想定されるが、市政の優先順位や施策のバランス、過度な市の財政負担、小規模の地権者の追い出しなど慎重な検討が必要であることから、市はどう認識しているのか。また、今後の基本的スタンスを問う。
2 教育行政について	(1) 市内県立高校におけるトイレ洋式化の促進や倒壊の恐れのある敷地外周外壁改修等、教育環境の改善要請について (2) 市内小中学校の校則について
3 市民の生活移動の足の確保策について	(1) デマンドタクシー導入検討の進捗状況について (2) 運転免許返納者への支援策について (3) 初石地域の民間バス2路線廃止に伴う対策について
4 医療の充実について	(1) 小児科を標榜する医療機関が2017年度26施設から、22年度32施設になったとしても、子育て中のママから、「小児科に受診できないことが増えています。熱発時、かかりつけ医のクリニックでは、朝6時から始まるネット予約にもかかわらず、わずか10分たらずで午前の予約枠が一杯となり、予約できても40番台等、対応しきれない状況です。母になるならと子育て世代を誘致するなら、子どもの命が守られるという最低限の受け皿にも関心を持ち、整備して欲しい」との具体的な声が届いている。入院可能な小児科病床を日常的に利用できるような環境整備も含め、今後の方策を問う。 (2) 今年第2回定例会で「負担金等、段階的に増額してきたが、救急医療の現場の改善や、救急の病床増につながっていない」との現状認識は一致したものの、具体的な対策は見受けられていない。令和6年度に向け具体化を図るべく、第2次医療機関救急指定業務の実務にあたる3病院との協議を持つべきと考えるがどうか。